

『豊かな鹿児島の自然遺産』収集保存事業

昆虫

今年度から「豊かな鹿児島の自然遺産」収集保存事業がスタートしました。鹿児島の貴重な自然を記録に残すこと目的として、現在、博物館全職員と館外協力員で取り組んでいます。

今年度は、大隅半島の中央部に位置する高隈山と隆起珊瑚礁でできた喜界島に加え、下甑島と種子島、屋久島などを調べました。今回はその調査成果の一部についてお知らせします。

植物

高隈山や下甑島では、主に山腹の谷部や沢部、さらに山頂にかけて資料収集を行いました。喜界島では、砂浜を中心に資料収集を行いました。採集した植物は標本化し、当館に収蔵しました。

〔高隈山〕

木本では、マンサクやモクレイシ、高隈山が南限のヒメコマツやイチイを、草本では、ツクシコウモリやオオマルバノテンニンソウ、ツルニンジンなど約50点。

〔下甑島〕

尾岳を中心に、ホタルブクロやニシノヤマタイミンガサ、ミヤマウズラなど約50点。

〔喜界島〕

砂浜を中心に、ハマアズキ、ナハエボシグサ、ハマタイゲキ、クロイワザサ、ツキイゲなど約50点。

地質

高隈山では、大笠柄岳の麓で花崗岩、御岳で頁岩、石英など5点を収集しました。



花こう岩の露頭(大野原林道)
種子島では、ビカリヤやトウキョウホタテなどの貝化石を5点収集しました。



4月口之島、10月悪石島で昆虫相調査を行いました。ヒメシリビアシジミは2010年10月にはいたのに、2011年4月にはいなくなっていました。これはおそらく飛来・発生していた個体群が越冬できずに消失したものと思われます。また8月に屋久島の淀川登山口近くで、ヤクシマエゾゼミの生態調査を行いました。木の高いところで鳴いていましたが、姿は確認できませんでした。

動物

高隈山で、毎年行っているコガタブチサンショウウオの調査を協力員とともにに行いましたが、今回は確認できませんでした。来年度も実施予定です。

各分野で収集した資料は、鹿児島の豊かな自然を広く県民に知ってもらうために、企画展で展示したり、学校や地域での教育普及活動で紹介したりする予定です。

これからの企画展

宇宙137億年・時空の旅

～宇宙と地球の物語～

4月21日(土)～6月24日(日)

宇宙を見ることは、過去を見ることでもあります。宇宙が誕生してから約137億年、そして地球が誕生してから約46億年。宇宙のさまざまな天体を巡りながら、地球上のできごとを織り交ぜて紹介します。

また、5月21日の金環日食、6月6日の金星の太陽面通過のしくみや観測方法についても紹介します。



8年ぶり! 海を渡つた移動博物館

平成23年10月19日～23日(5日間)開催

郷土の自然を身近に感じていただく「移動博物館」が8年ぶりに南の島・徳之島を訪ねました。徳之島町生涯学習センターを主会場に鹿児島の天然記念物や徳之島の自然などの展示、液体窒素を使った「楽しい実験」、天城町での星空観察会、伊仙町での自然観察会や徳之島の自然に関する講演会などを行いました。移動博物館をとおして徳之島のみなさんに郷土鹿児島のすばらしい自然を実感していただけたようです。



展示会場(徳之島町生涯学習センター)



自然観察会(伊仙町喜念浜海岸)



郷土の自然紹介授業(天文・西阿木名中学校)

はやい! やさしい! たのしい! 科学の実験

「楽しい実験」は、毎週土日を中心に関連室で行っています。今年も好評で12月時点でおよそ18,000人の参加がありました。

「楽しい実験」の内容は月替わり。所要時間わずか10分間、しかも誰でも簡単にできるので非常に手軽、加えて大変楽しいと三拍子そろった内容ばかりです。それに予約も費用も必要ありません。

平成23年度の中で、もっとも反響があったのが、10月に実施した「スズメバチをさわろう」でした。企画展「あぶない!かな?みぢかなハチ」に関連した実験で、冷凍してあるスズメバチを素手で触りながらじっくりと観察しました。普段は怖い存在のスズメバチですが、参加者からは「鹿児島県博ならではの体験ができるよかったです。」という感想が多数寄せられました。



楽しい実験「スズメバチをさわろう」

平成24年度は、「回して楽しいボトムゴマ(9月)」という内容が初登場します。ペットボトルを使い、よく回るコマを作る実験をします。もちろん、定番の「ジュズダマでかざりをつくる(11月)」や「星砂をさがそう(1月)」、平成23年度好評だった「スズメバチをさわろう(10月)」もありますよ。あなたもこの「楽しい実験」に参加して、科学の世界に触れてみませんか。

